

2023-24 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST, D2530



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 渡 辺 敬 藏
幹事 宮 崎 秀 剛
奉仕プロジェクト
委員会委員長 寺 島 英 樹
会報写真担当 朝 倉 久仁男

令和 6 年 6 月 3 日(月) 第 34 回 通算第 1696 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/ウェディング エルティ ☎ (024) 535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第 34 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 渡辺 敬藏 会長

◇国歌斉唱
ロータリーソング
「奉仕の理想」
ソングリーダー
寺島 英樹 会員



◇四つのテスト唱和
黒澤 信之 会員



◇お客様 並びに ビジター紹介
福島ロータリークラブ 会長エレクト
菅沼 裕(すがぬま ゆたか) 様
福島ロータリークラブ 次期幹事
岡田 新也(おかだ しんや) 様



◇会長あいさつ 渡辺 敬藏 会長

本日は、福島ロータリークラブ会長エレクト菅沼裕(すがぬま ゆたか)様、福島ロータリークラブ幹事岡田新也(おかだ しんや)様をお迎えしての例会です。

今朝6時半に能登半島珠洲市を発生源とするマグニチュード5.9、震度5強の地震が発生しました。詳細はまだ発表されていませんが、1月の能登地震の余震と推定されています。志賀(しか)には北陸電力の志賀原子力発電所があり、発電所への影響が気になるところです。

東日本大震災においても、原発事故のあった福島県のその後の復興は、岩手県、宮城県とは違った様相を示しています。原発事故の起こらないよう祈るところです。

本日は、スケジュールが詰まっていますのでここまでとします。

◇幹事報告 宮崎 秀剛 幹事

○お知らせ

- 6/8(土)、9(日) 磐梯熱海温泉ホテル華の湯にて第16回全国RYLA研究会福島会議が開催されます。
- 6/10(月)の例会は休会となっておりますのでお知らせいたします。
- 6月ロータリーレートは1ドル157円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

西形 健吉 委員長



○福島ロータリークラブ 菅沼裕会長エレクト

次年度、お世話になります。よろしくお願いいたします。

○福島ロータリークラブ 岡田新也次期幹事

本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

○渡辺敬藏会長

本日は、福島ロータリークラブの菅沼会長エレクト、岡田次期幹事をお客様としてお迎えしております。よろしくお願いいたします。

○宮崎秀剛幹事

福島ロータリークラブ菅沼会長エレクト、岡田次期幹事、ようこそ例会にお越し下さいました。

また、本日は会長・幹事スピーチがあります。どうぞ宜しくお願いします。

○久米充彦会員

会長、幹事の一年を振り返ってのSP、楽しみにしていました。

○黒澤信之会員

本日から2週間、大相撲大波三兄弟が福島合宿に入ります。地元の皆様の応援、宜しくお願いします。9日のパーティ券が必要な方がいらっしゃいましたらお声掛けください。

○佐藤宗弘会員

2024-25 年度会長菅沼様、2024-25 年度幹事岡田様の来訪を歓迎致します。7/4はタイトスケジュールとなりますが宜しくお願い致します。

○高根典子会員

本日のスピーチを楽しみにしてまいりました。有意義な時間を過ごしたいと思います。

大平謹一郎会員／齋藤武二会員／佐久間政文会員／佐藤卓立会員／佐藤慶行会員／高橋智弘会員／寺島英樹会員／西形健吉会員／野尻榮一会員

本日のスマイリングBOX 集計 17件 34,000円

ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇社会奉仕小委員会より

高橋 智弘 委員長



◇本日のプログラム

◆ 宮崎秀剛幹事スピーチ



今年のスローガンは「エンジョイ・ザ・ロータリー」でした。

ちょうど半年前、12月例会で幹事スピーチの機会をいただきました。もし、あなたがロータリー活動を楽しんでいますか？と問われたら、どう答えるか。そこで話したのは「楽しめてないのかもしれない・・・」との答えでした。半年経ったいま、私はどう答えるのでしょうか。今の気持ちとしては「まだ楽しめるまでは行っていない。こなすだけで精一杯」。こんな感じでした。誤解のないように言いますと、クラブの皆様については、誰一人として、嫌いとか苦手な方がおりません。

私は、過去も現在も含め他団体にも所属しておりますので、比較する訳ではありませんが、やはり人が集まるという事はいろんな方がいます。馬が合うとも言いますが、好きな人嫌いな人がいるのも、人が集まる団体においては当然のことだと思いますが、それがこのクラブにはありません。本当に良くしていただいておりますし、これはかなり珍しい事だと思っております。

では、何が大変だったのか。それは、二つありました。

一つ目は、正直に申しますと、やらされている感があったという事です。もちろん、皆が通ってきた道ですし、過去に会長幹事を経験された皆さんも、もしかしたらその当時は同じ気持ちだったのかもしれませんが、決まっていることを一つずつこなす事になりますので、

この時期にこれをやる、つまり年間スケジュールが元になります。年次計画書・年次報告書の冊子を読み込みました。

今まで総会以外では開いたこともなかったこの冊子を例会や理事会など常に持参しました。例会についても、渡辺会長、事務局の小澤さんと一緒に式次第を準備しました。滞りなく進行できたのはお二方のお力添えのお陰でした。

一方、大変だったのは理事会です。開催1週間前には理事会資料の準備をするのですが、差替えや追加もあり完成するのは理事会直前という事も多々ありました。資料が揃わないのです。

そして、理事・役員の皆様からも様々な意見が出ます。議事進行しながら軌道修正するのも大変でした。幹事の職務として議事録作成をするのですが、渡辺会長より「全員が読んで解るように詳細に書いて欲しい」と指示がありました。

理事会翌日には議事録原稿をメール送信します。その後、何度も修正が入るため追いつかず、途中から理事会にノートPCを持ち込んで議事進行をしながら作成する事になりました。

理事会次第、レジュメが当日差替えとなるので、事務局から送ってもらったPCにある次第と順番が変わったりしたため、議事を飛ばすこともあり指摘されたこともありました。やはり、議事進行しながらの議事録作成、無理があると思います。

二つ目は仕事と家庭の事です。

私には、妻と3人の子供がおり、この4月からは大学生2人と高校生1人という、今はいちばんお金が掛かる時期となっております。

お陰様で仕事も順調で、財務コンサルタントとしての新規の相談依頼や弊社との顧問契約についても毎年のように増えています。お客様からのご紹介など、お声掛けいただき本当に有難いと思いながら仕事をしています。

事業主相談だけではなく一般のご家庭からの相談もあるため、土日祝祭日が営業日となります。今までは平日が休みだったのですが、この一年はロータリー活動と重なることもあり次第に休めなくなりました。

先月もゴールデンウィーク明けから3週間連続で勤務となり、月末にやっと1日休むことができました。誰かに奉仕するためにはまず自分の事ができないとダメ、心と体に余裕が無いとダメだと思いました。

例会での四つのテストの唱和にて、「みんなに公平か」と言うたびに、「公平じゃないよな・・・。仕事を押し付けられて大変な思いをしている。原因はロータリーなのに。」と思った事もありました。

渡辺会長年度での幹事を仰せつかりお受けした後に、2025-26年度の会長を依頼され、何度も断ったのに、せめて幹事が終わった後に改めて考えさせて欲しいと何度もお願いしたのに、断り切れずお受けしました。

この度、仕事の都合とはいえ、渡辺会長が退会することになるなど忸怩たる思いがあります。一体、誰に相談すれば良いのか。せめて渡辺会長には、私の会長年度が終わるまでは在籍して欲しい、見守って欲しいと思いました。

「会長エレクト、つまり、2025-26年度の会長は辞退させて欲しい」2月の理事会にてそう発言しました。所属していた他団体において「議長は自分の意見を述べてはいけない。議事進行に徹しなければいけない」そう学びましたが、それを曲げて議事進行の立場でしたが発言いたしました。

地区や分区の行事などにおいては、職務担当者に欠席者がでると、渡辺会長は率先して出席してくれました。でも土日祭日が仕事になる私にはできません。先の予定ならば、幾らでも調整できますが、直近は無理です。仕事を放り投げて行く事もできません。

途中からは、何度かクラブを退会したい気持ちも出てきました。他のクラブ会員である友人や、分区行事や会議などで話を聞くに当たり、入会5年以内の退会者が多いというのも非常に分かる気がします。やはり大変なのです。

ある程度、仕事も子育ても一段落して活動するのと、その真ん中で活動するのでは違います。

みんなで仕事を分担するのと、誰かに押し付けること。決してそういう訳ではないのですが、結果そう取られても仕方がない部分もあるかもしれません。一会員として参加するならばとても楽しいと思いますが、設営する側は大変です。

そしてこの今の正直な気持ちを、先日、寺島会長エレクトへ相談しました。

現状を課題と捉え、今までよりもこれからをどうするか。その部分を本当に理解していただきました。この先のビジョンについても思いは同じだったため、安心したというか本当にほっとしました。

「ロータリーなんて所詮道楽なんだから。難しく考えることはないから。」
先日、久米さんにそう言われて気が楽になりました。

そして、私は決めました。様々な想いもありますが、これからもこのクラブに所属し、皆と一緒に活動することにしました。

もしかしたら、折角のご縁をいただきクラブに入会された方の中にも辞めたいと思った方もいることでしょう。でもその気持ちはとても理解できます。

だからこそ、今まではこうだったから・・・ではなく、これからはこうしよう、一緒にこう変えていこう。そう思っております。

最後に、この福島西ロータリークラブの印象をお話します。

一言でいうと・・・「筋の通っためんどくさい人たちの集まり」です。

宗弘さんなんかはその最たるものだと思います。でも、「困ったことがあったら何でも言ってね。協力するからね。」と細かい心遣いだけではなく、実際に行動で示してくれます。

このクラブは、事なかれ主義ではなく、言いたいことを本音で言い合える、そこが本当に他のクラブに無い素晴らしい特徴、つまり強みだと思っております。

「めんどくさいけど筋の通った」クラブの皆様、これからもどうぞ宜しくお願いします。

◆ 渡辺敬藏会長スピーチ



早いもので、昨年7月3日に会長スピーチをしてから、はや1年になろうとしています。これまで無事に過ごせましたことは、皆様のご協力のお陰と感謝申し上げます。

今年は創立40周年に当たり、1月に記念式典を右近ガバナーはじめ、阿久津、大橋、平井、芳賀の各バスターガバナーをお迎えして開催できました。また、これに先立ち、昨年11月3日福島市まちなか広場で福島市へ、テント2張りを寄贈しました。なお記念誌は只今作成中です、予算の少ない中、自前で作成しており、少々時間がかかっておりますことご容赦願います。

さて、1年間を振り返りますと、右近ガバナーの地区スローガンである

“ENJOY the ROTARY PRIDE!”

「ロータリーの誇りを楽しもう！」

をめざした活動に努めてきました。その一環として外部講師による卓話を多く開催しました。

荒汐部屋師匠 荒汐栄吉様をお呼びしての黒沢会員との対談、元東邦銀行頭取 現顧問の北村清士様をお迎えしての北村様の生い立ちやこれまでの社会活動について、東北文化学園建築課環境科客員教授の赤井仁志をお迎えしてのカーボンニュートラルを目指した地中熱利用による園芸、(株)東日本建設コンサルタント技師長の永尾晃様をお迎えして、ひっ迫している社会インフラ、とりわけコンクリート構造物の維持管理をどうすべきかについて産学官と技術士会で福島県独自のシステムを立ち上げ取り組んでいることなど、我々会員とは異なる分野の4名の方々により卓話を頂きました。

恒例の福島西ロータリー杯少年野球大会は、天候に恵まれ予定通り安部ガバナー補佐の始球式で開催できました。また、佛母寺職場訪問例会での早朝座禅会による精神修養も試みました。

解決すべき大きな問題として、会報発行に際しての印刷費用の金額アップがありました。これまで通り日進堂印刷所による会報印刷を継続する場合、約2倍の金額(66万円)になるという件です。

この大きな問題を解決するべく以下の対応をしました。条件は以下の通りです。

- ① 印刷会社を日進堂印刷所からインフォメーション・ネットワーク福島に切りえる
- ② 原稿は、ワードで入力する
- ③ 写真の貼り付けなどの構成も行う
- ④ ペーパーレス（必要最小枚数は印刷配布）とする

以上の条件で会報発行費用は、26万4千円となり、予算は大幅に削減できました。

7月、8月頃は、双方のやりとりが多く、時間も掛かるなどの問題がありましたが、ワード入力に際して、テンプレートの採用を当方から提案し、会報作成の効率化を図るなどにより問題なく実施できるようになりました。今後も低予算での会報発行は可能と思いますので継続して頂きたいと思います。

最後となりましたが、この1年間の皆様のご協力、取り分け宮崎幹事と事務局小澤様に感謝を申し上げ私のスピーチと致します。

なお、私の会社は2月に廃業しました。つきましては、私もこの6月でロータリーを止めることとしました。本来なら2月末でやめるところ会長をしていることより6月まで延長させて頂きました。2004年宍戸会長の時に入会してから20年間お世話になりました。

ありがとうございました。

◇閉会点鐘

渡辺 敬藏 会長